

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 イラストレーション専攻											
基礎デザイン実習C											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	秋山 潔			実務経験		職種	美術家				
担当教員紹介											
1978年～2018年日本工学院専任教員、2019年～デザインカレッジ非常勤講師 美術家として1981年より作品発表、日仏現代美術展 東京都美術館・グランパレ（パリ） 現代日本美術展 東京都美術館・京都市美術館など国内外で個展・グループ多数。絵画、版画表現専門、NPO法人アート農園理事□											
授業概要											
この授業ではグラフィックデザインに向かうための基礎的な素養として、平面構成のトレーニングを行います。 人間のものの見え方「視覚」について論理的に理解する。それをふまえて制作物のどのような効果や影響が得られるのかを課題制作を通して体験し、検証します。											
到達目標											
造形デザインの基礎理論を理解します。画材など表現するための素材について課題をとおして理解します。紙を中心に測る、描く、切る、貼るなどの基礎技術を習得済ます。そして、画面構成力を上達させることを目標とします。											
授業方法											
平面構成間隔訓練、色彩構成、フロッタージュ、デカルコマニーなど小作品の制作。実習プログラム後半では各単元で習得したテクニックを活用しまとめとして作品制作を行います。											
成績評価方法											
課題完成度、80%課題作品完成度、理解度により評価する 平常点、20%積極性など授業態度により評価する											
履修上の注意											
課題制作した自身の作品は、大切に扱い丁寧に保管すること。使用する道具と教室はきちんと管理をして常に手入れを怠らないこと。持参する道具を忘れないこと。貸し出しはしません。課題の提出期限は守ること。授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出と評価を受けることができない。											
教科書教材											
B4用紙、カッター定規等制作道具、鉛筆、色鉛筆、トータルカラー、アクリル絵の具など。											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション、「造形要素の理解」視覚について										
第2回	線の視覚言語・深さの表現、レクチャー、点・線・面、深さの表現 見ることの曖昧さの理解。線によるアナログ画										
第3回	レクチャー、遠近法・テクスチュアの理解、課題1 フロッタージュ素材作り										
第4回	制作作業、課題1 テクスチュアを写す フロッタージュ「リズム・メロディー」										
第5回	作品講評・レクチャー「図と地・構図についての理解」										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 イラストレーション専攻	
基礎デザイン実習C	
第6回	制作作業、レクチャー「色彩について」課題2 テクスチャをつくる。 「触跡」
第7回	作品講評・レクチャー、「民族の色について」課題3デカルコマニー資材作り
第8回	制作作業、レクチャー、「版のはなし、紙のはなし」課題4「水のかたち・風のかたち」
第9回	作品講評、課題4、写真の単純化「風景写真」
第10回	制作作業、作品講評、課題5写真の単純化「身体」
第11回	制作作業、音楽とイメージ1 作品講評、「シルクロード」
第12回	制作作業、音楽とイメージ2 作品講評「インド幻影」
第13回	制作作業、音楽とイメージ3 作品講評「JAZZ」
第14回	制作作業、作品講評「自由テーマ」
第15回	作品プレゼンテーション、講評